

デジタル色彩教育のこれから PART2

昨年のPART1では、学校教育にデジタル表現を導入するにあたり理解しておかなければならないこととして「デジタル色彩表現に関する基礎知識」「デジタル表現が子供の心身に及ぼす影響」「プログラミングあそび体験とデジタル表現の可能性」の3テーマを取り上げました。

今年は、実践的活動や表現活動を通して社会に情報発信を続ける方たちを紹介いたします。

「アートプロジェクトを通してメディアアートの可能性を読み解く」「メディアアートの最前線で作品を発信し続けるライゾマティクスの紹介」「MITが開発したScratchプログラミング言語を使った作品作りのワークショップ」の3つの講演とワークショップをお届けします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



日本色彩教育研究会
Japan Association of Color Education

講座テーマ・講師・概要

■ 9:30～ 開 場

10:00～10:10 開会挨拶

日本色彩教育研究会 茂木 一司 会長

10:10～11:40 色彩と情報、その体験デザイン

会田大也氏



視線ワークショップ "Eye2Eye"
写真提供: 山口情報芸術センター YCAM

情報技術の発達により、あらゆる知覚情報をデジタル情報として取り扱うことができるようになりました。メディアアートという表現ジャンルにおいても、情報の取り扱いはいずれまでのアーティストが素材を扱う時のように、慎重にかつ時には大胆に転換をしながら取り扱われてきています。今回の講演では、筆者がこれまで取り組んできたメディアワークショップの事例を引きながら、音や触覚といった感覚情報を抽出したり編集加工したりすることの意味を考え、色彩で応用する場合の可能性を考えてみます。つまり、色彩を「受け取る知覚」として捉える視点から、「編集する対象・取り扱える情報」として捉える視点へジャンプして見ようという試みです。

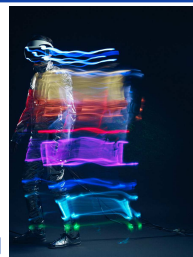
■ 11:40～12:10 会員総会

13:20～14:20 テクノロジーを扱う表現のあり方—ライゾマティクスの活動—

柳澤 知明 氏

メディアアート、エンジニアリング、建築、音楽、工学など、様々なバックグラウンドを持つ個性豊かなメンバーが在籍するライゾマティクス。2006年の設立から、アート／広告、Webから空間におけるインタラクティブ・デザインまで既存の枠組みを越えたクリエイションを行ってきた組織です。本講演では、2008年からライゾマティクスに在籍し、広告やイベント、展覧会におけるクライアントワーク、またロボットが演奏するバンドなど、自主プロジェクトを多数行ってきた経験から「テクノロジーを扱う表現のあり方」について、事例とともに紹介いたします。

作品事例



14:30～16:30 ワークショップ「誰でも簡単Scratchプログラミング体験」

倉本大資氏



ワークショップ風景

MIT(マサチューセッツ工科大学)が開発し、無償で提供されているScratchというプログラミング言語を使い作品作りをするワークショップです。

「Scratchとは?」という基本から、「作品作り」を実際に体験し、「応用例」などを見ながら、ご活用アイデアのヒントを見つけてください。

PC(Windows / Macどちらでも)もしくはiPadをなるべくご持参下さい。(準備いただくものについては裏面をご覧ください。)

開催要項

会 期 平成29年8月23日(水) 10:00～16:30

協 賛 一般社団法人日本色彩学会 / 日本色研事業株式会社

会 場 聖心女子大学 3号館4F 340番教室
東京都渋谷区広尾4-3-1

定 員 50名(申し込み順)

主 催 日本色彩教育研究会/一般財団法人日本色彩研究所

参加費 3,000円(会員 日本色彩教育研究会/日本色彩学会)
5,000円(一般)

後 援 文部科学省

1,000円(学生)

講師プロフィール

会田 大也 (あいだ だいや) 氏

2000年東京造形大学造形学部デザイン学科造形計画専攻卒業。2003年情報科学芸術大学院大学[IAMAS]終了後、山口情報芸術センター[YCAM]に勤務。2003年の開館以来、教育普及担当として作品鑑賞、メディアおよび身体表現に関わるオリジナルワークショップの企画開発やギャラリートツアー、レクチャーなどを運営する。2014年より東京大学大学院ソーシャルICTグローバル・クリエイティブ・リーダー[GCL]育成プログラム特任助教。

柳澤 知明 (やなぎさわ ともあき) 氏

株式会社ライゾマティクス ライゾマティクスリサーチ ハードウェアエンジニア/インタラクションデザイナー
1980年生まれ。武蔵野美術大学デザイン情報学科卒業。英国王立芸術大学デザインインタラクション学科修了。リサーチからデザイン、ハードウェアデバイスの開発設計・制作に至る知識と技術をもとに、アート、広告、MV、プロダクト開発などのプロジェクトにテクニカルディレクター、デザイナー、デバイスエンジニアとして参加する。2008年に真鍋大度・石橋素・堀尾寛太と「4anchor5 la6(アンカーズラボ)」のメンバーとして活動開始。2010年「NIKE MUSIC SHOE/NIKE JAPAN」でカンヌ国際広告祭フィルム・クラブ部門銀賞、フィルム部門銅賞を受賞。また個人としてニューヨーク近代美術館での展示に作品が選出されるなど、多方面で活躍。

倉本 大資 (くらもと だいすけ) 氏

OtOMO代表。2008年よりScratchを使った子供向けプログラミングワークショップを多数開催。2016年5月「小学生からはじめるわくわくプログラミング2」(日経BP社)上梓。プログラミングをもつくりの一つと捉え、表現や創作の観点から子供たちを導いている。
1980年生まれ。筑波大学芸術専門学群構成専攻総合造形コース卒業。現在は株式会社シュビキに勤務する傍らOtOMOの活動や自身の創作活動を続けている。

●ワークショップ受講にあたっては下記の準備をお願いします。

- PC (Windows / Macどちらでも) またはiPadをご持参ください。
ご持参が難しい場合は貸出機材の用意がありますので、申し込み書の機材借用希望欄にチェックを入れてください。
- ご持参いただく機材の事前準備

PC (Windows / Mac) の場合

以下のリンクからzipファイルをダウンロードして、デスクトップ

等わかりやすい場所に解凍してください。

<https://goo.gl/Gcn5EO>

iPadの場合

App Storeから「PYONKEE」(無料)のアプリをダウンロードして下さい。

●申込方法

申込書に必要事項をご記入のうえ、下記宛先までお申し込みください。

FAX、郵送、E-mailのいずれでも結構です。

E-mailの場合は、申込書にある記入項目を転記の上、その内容を記載してください。

参加費は「現金書留」「銀行振込」「郵便振替」いずれかでご送金ください。

メールまたはファックスにて受講証をお送り致しますので、

当日写しを受付にてご提示ください。

●申込先

〒339-0073 さいたま市岩槻区上野4-6-23 一般財団法人日本色彩研究所内

日本色彩教育研究会事務局 赤木・大内

FAX : 048-794-3901 E-mail : ohuchi.hiroko@jcrc.jp

お問合せ TEL.048-794-3816

●会費振込先

郵便振替 00150-6-136277 色彩教育研究会

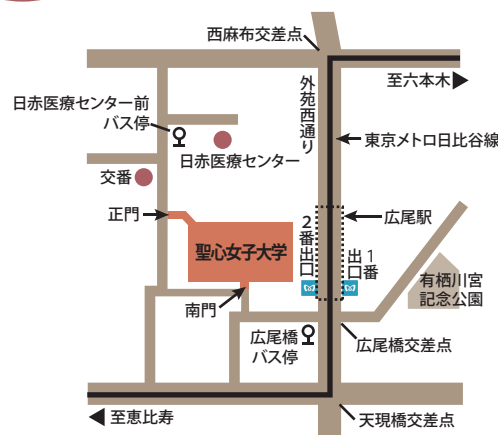
銀行振込 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 (店番号045) 普通預金 No.4274001

色彩教育研究会 (シキサイキョウイクケンキュウカイ)

会場

聖心女子大学 3号館340番教室

東京都渋谷区広尾4-3-1



- 東京メトロ日比谷線「広尾駅」下車 2番出口から広尾商店街を通り約3分
- JR品川駅より都バス「新宿駅西口」行「広尾橋」下車約4分
- JR渋谷駅東口または恵比寿駅より都バス「千駄ヶ谷駅」「新橋駅」行終点「日赤医療センター前」下車約3分
- JR目黒駅より都バス「千駄ヶ谷駅」「新橋駅」行「広尾橋」下車約4分

キリトリ線

参加申し込み書

第67回日本色彩教育研究会本部研修会「デジタル色彩教育のこれからPART2」に参加費を添えて申し込みます。

必要事項をご記入のうえ、日本色彩教育研究会事務局までお送りください。

FAX 048-794-3901

氏名	勤務先 【学生は学校名】	TEL	-	-
連絡先住所 【参加証送付先】 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	〒□□□-□□□□	FAX	-	-
		E-mail		@
該当する□にレ印を付けてください	所属 <input type="checkbox"/> 日本色彩教育研究会 <input type="checkbox"/> 日本色彩学会 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生 支払方法 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行振込 ●支払期日 平成29年 月 日 予定 領収書 <input type="checkbox"/> 要(領収書宛名)) *領収書は当日受付での発行となります。 機材借用希望 <input type="checkbox"/> 希望する			